

平成28年度 鳥取大学第3回経営協議会 議事要旨

日時 平成28年9月20日(火) 15:05 ~ 16:20
場所 鳥取大学事務局棟 第一会議室
出席者 高橋委員、永井委員、長谷川委員、松本委員、宮崎委員、吉岡委員、
豊島委員、中島委員、田中委員、細井委員、北野委員、法橋委員
陪席者 田中監事、香川副学長、古塚副学長、矢部副学長、松見副学長、山口副学長、
藤井地域学部長、田村農学部長

議 題

議題に先立ち、前回議事要旨の確認があり、承認された。

1. 地域学部、農学部及び持続性社会創生科学研究科の改組

資料1に基づき、文部科学省に再提出した地域学部、農学部及び持続性社会創生科学研究科の改組にかかる事前伺いについて、平成28年8月15日付け事務連絡「事前伺いの結果について」により、設置報告書の提出による設置が可能となったこと、及びこれを受けて8月下旬に設置報告書を文部科学省に提出・受理されたため、学生募集活動を開始した旨報告があった。

2. 鳥取大学修学支援事業基金の設置

資料2に基づき、国立大学法人等が実施する学生の修学支援に係る事業への個人寄附について、「所得控除」に加え「税額控除」が導入され、寄附者がいずれかを選択できることとなったことに伴い、本学において個人からの寄附金の獲得を推進し、もって学生の修学を一層支援するため、「鳥取大学修学支援事業基金」を新設すること及びこのことに関して以下の規則を整備することについて説明があり、審議の結果承認された。

<規則の制定等>

- ・鳥取大学修学支援事業基金規則（制定）
- ・鳥取大学大学教育支援機構規則（一部改正）

3. 平成29年度概算要求

資料3に基づき、平成29年度概算要求について、前回の経営協議会で方向性を承認後正式に概算要求を行ったこと、及び文部科学省から財務省に提出された概算要求事項及び要求額について、並びに今年度の補正予算について報告があった。

— 委員からの主な発言 —

- ◇ 他の多くの大学でもグローバルと言っているが、鳥取大学ではどのようなイメージをしているか、について質問があり、学生のうちに海外に出し、人間力を育て社会に出す。そして主に先進国ではなく途上国を考えており、その中で人間力を高めて社会に貢献できる人材を育成するイメージであるとの回答があった。

4. 平成27事業年度財務諸表の承認

資料4に基づき、平成27事業年度財務諸表の承認を受けた旨の報告があった。

5. 平成28年度人事院勧告

資料5に基づき、平成28年度人事院勧告について、民間給与との格差を埋めるため棒給表の水準を引き上げること及び、配偶者に係る扶養手当の手当額を他の扶養親族と同額とし、子供に係る手当額を引き上げる内容であることと、鳥取大学に適用した場合の推計について報告があり、今後の国の動きを見て実施を検討するので、次回の経営協議会で審議いただきたい旨の説明があり、了承された。

6. その他

不正使用調査委員会の進捗状況について報告があり、意見が交わされた。

資料6、7に基づき、最近の地域貢献の取り組みの報告、ホームカミングデー開催予定について説明があった。